

東京DMATの活動内容の拡充について(案)

目的

- 大規模化かつ頻発化する自然災害等により被災した医療機関に対し、現地の医療機関管理者等と東京DMATが連携し、入院患者等への対応方針の決定や、転院調整等に関する必要な助言等を行うなど、都内医療機関に対する支援活動等、東京DMATの活動内容の拡充を図る。

現状

- 都内の局所災害に出場する場合、「傷病者が20人以上発生した場合」、「現地に出場した消防隊が判断した場合」など、大震災等の自然災害や大規模交通事故等の都市型災害現場への出動など、東京DMATは被災現場等での救命処置等の現場活動が主目的
- 一方、近年の風水害被害などを鑑みると、都からの要請により、東京DMAT隊員が被害のあった病院に入り、転院搬送や院内の医療救護に関する必要な助言等を行うなど、医療機関の支援を実施

取組の方向性

- これまでの活動に加え、都からの出場要請により、被災した医療機関の支援と都対策本部等とのコーディネート機能を担うなど、現地での医療機関支援を新たに活動内容として整理
- 具体的な活動内容については、新たに部会を設置し、検討